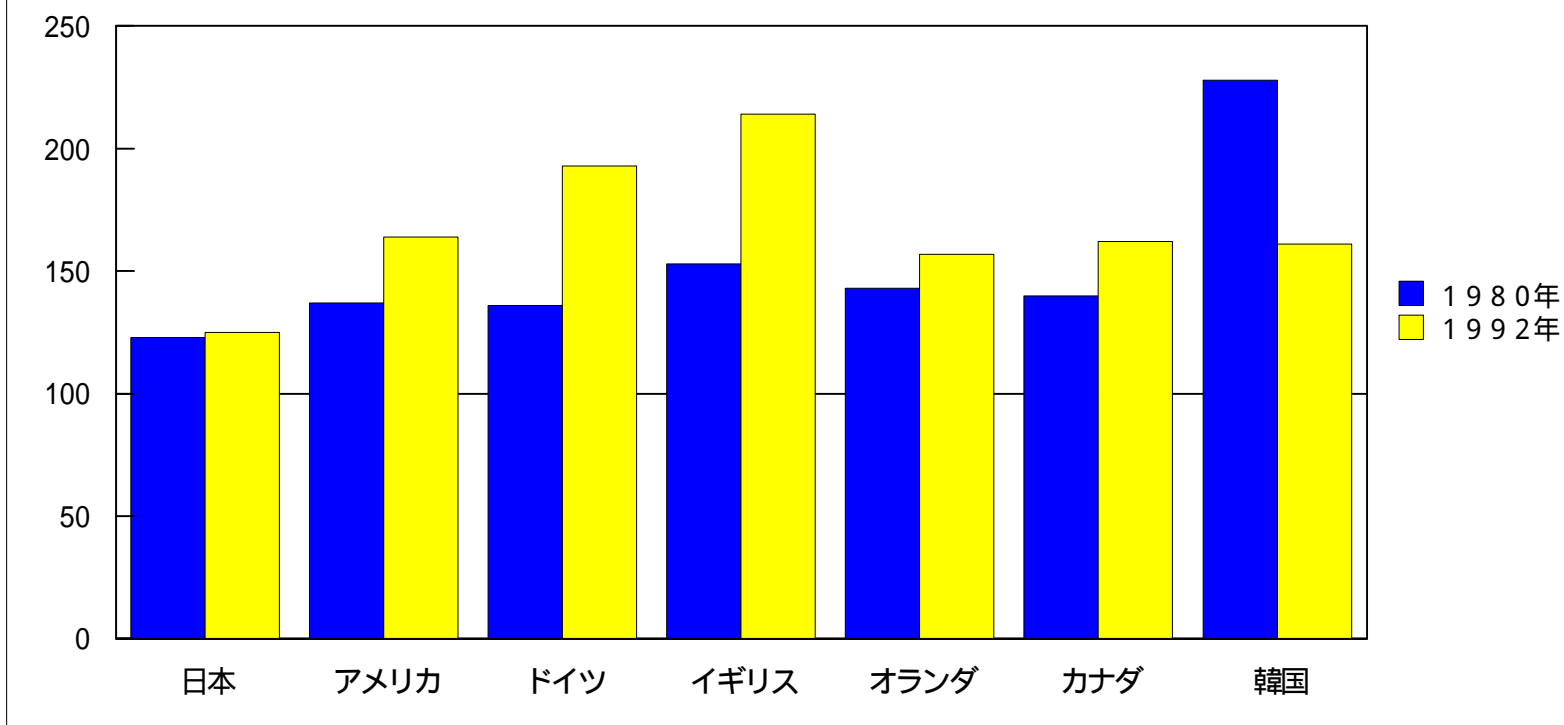


### 欧米諸国に比べて小さい日本の学歴間賃金格差

<高卒の賃金を100とした場合の大卒の賃金(全産業計)>



資料：「国民生活白書（安全で安心な生活の再設計）」平成8年度 経済企画庁

1. 「OECE " EDUCATION AT A GLANCE "」（1992年），「 " Employment Outlook "」（1980年），「 Steven J. Davis " Cross-Country Patterns of Change in Relative Wages " NBER Macroeconomics Annual 1992 」より作成。

日本は「賃金構造基本統計調査報告書」（1980，1991年度版）労働省による全産業計の所定内給与による比較。

韓国は「生活構造の日韓比較」（1996年）経済企画庁・（財）家計経済研究所による。

2. 所得は全年齢階級の平均。詳しくは源資料を参照

3. オランダ，ドイツ，イギリスは義務教育終了者との格差

4. 1980年の数値のうちアメリカは1979年，ドイツは1981年，オランダは1983年

5. 1992年の数値のうちカナダは1991年